

まん延防止等重点措置 適用 （令和3年8月17日）

- 本日は、広島県がまん延防止等重点措置に適用されたことを受けて、今後の対応についてご説明します。

スライド 2

- 県内の感染状況ですが、8月12日に直近1週間の人口10万人あたり新規報告者数がステージⅣ目安値の25人を超え、8月16日現在、35.9人となっています。
また、10万人あたりの療養者数及び入院率がステージⅣ目安値を超えている状況です。
病床のひっ迫具合はステージⅢ目安値の20%を超えています。

スライド 3

- 県内各市町の感染状況に着目しますと、早期集中対策の重点区域とした広島市、廿日市市及び三原市、追加で重点区域とした呉市、尾道市、福山市及び府中市のみならず、他の市町においても感染拡大が続いています。

スライド 4

- こちらは、7/31から対策の効果があつた場合、8/4から効果があつた場合と実際の感染状況を比較しています。
残念ながら、現状では、今までと同等の効果が発揮されているわけではなく、さらなる強い対策が必要と考えています。

スライド 5

- 感染を抑えるための、基本的考え方として、人との接触を削減することが重要で、そのために、人出の削減を要請してきました。

スライド 6

- まず、現状の屋の人出についてです。
直近は大雨の影響で減少していますが、まだまだ屋の人出は削減できていません。

スライド 7

- 次に、夜の人出についてです。

過去、広島市中心部の滞在者数を5,000人台まで削減すると、感染状況も改善しました。現状では、7,000人台であり、さらなる人出削減が必要な状況です。

スライド 8

- このような状況を踏まえ、国に対してはまん延防止等重点措置の適用を要請しており、この度、適用されました。

なお、病床のひっ迫具合なども踏まえ、全県でのステージはⅢです。

スライド 9

- 今回、区域を追加します。竹原市、東広島市、府中町、海田町、坂町です。

東広島市においては、人口が一定規模以上あり、感染状況が悪化しており、上昇傾向です。

府中町、海田町、坂町、竹原市においては、人口が一定規模以上ある近隣市の感染状況悪化に伴い、感染状況が悪化しています。

これらの理由から、さらに感染拡大するおそれがあるため、新たに2市3町を追加します。

スライド 10

- これまでの集中対策の重点区域と今回の追加区域を入れて9市3町をまん延防止等重点措置区域とします。

- 全県での昼間の人出抑制に加え重点措置区域での夜間の人出の更なる減少により現在の感染拡大傾向の改善を目指します。

スライド 11

- 重点措置区域の9市3町のすべての飲食店への要請です。5時から20時までの営業時間短縮、また、お酒の提供は終日行わないことを要請します。

協力金をご覧の通りです。なお、早期給付については、国の通知に基づいて、希望者に

一定額を給付する予定です。

原則20日からの協力となりますが、食材や酒の仕入れなど、やむを得ない事情がある場合には1日猶予を設け、21日からご協力いただける飲食店も協力金を支給します。

スライド 12

- 続いて、重点措置区域で人が集まる施設への使用制限です。こちらは、面積に応じて要請等の内容が異なります。夜間の人出の更なる削減を目的に1千平方メートルを超える大規模施設に20時までの時短を要請し、協力金を支給します。

スライド 13

- 1千平方メートルを超える大規模施設への協力金については、ご覧のとおりです。単価につきましては、前回と同様です。

こちらにも、原則20日からの協力となりますが、なお、テナントへの周知が間に合わないなど、やむを得ない事情がある場合、1日猶予を設け21日から御協力いただける大規模施設についても協力金を支給します。

スライド 14

- イベントは、集中対策の際と変わらず、全県でご覧の要請となります。8月20日からは、イベントの開催時間について21時までの時短を要請します。

スライド 15

- こちらは、全国の感染状況です。感染状況は全国的に悪化しています。

直近1週間の人口10万人あたりの新規報告者数が、ステージIV目安値の25人を大きく超えて35.9人となっている広島県でさえ全国31番目の感染状況です。

現在、県外の方との交流により、感染が持ち込まれるリスクが非常に高い状況です。

スライド 16

- こちらは、県内感染者のうち、県外と関連のある感染者の割合を示しています。キーワード「県外関連」を持つ感染者は増加傾向にあります。これは、夏休みの時期ということもあるかもしれませんが、県外の感染状況悪化も一因であると考えています。

スライド 17

- 実際の感染エピソードとしては県外に出張し、取引先と会議したのち、取引先社員が陽性判明し、県外出張した社員も陽性判明また、そのご家族も陽性判明した事例。友人と県外へドライブし、そのうち複数名が陽性判明その後、家族も陽性判明した事例。
県外から実家に帰省した家族の陽性が判明し、その後、帰省先の県内家族や、会食した友人も陽性判明した事例があります。
このように、県外と関連がある感染エピソードは多数あり特に感染拡大地域へ行かない・呼ばないことが重要です。

スライド 18

- 県外との往来がこのまま続き、感染状況がさらに悪化すると病床がひっ迫するおそれがあります。実際に7月28日時点で確保病床使用率が20%前後であった府県は、2週間後に、50%を超えているところが多くなっており急速にひっ迫が進んでいます。
本県は8月11日時点で26%、8月16日時点で32%となっており今後1週間程度で、50%に達するおそれがあります。

スライド 19

- そこで、県外往来について、改めてお願いします。緊急事態措置、まん延防止等重点措置地域との往来は最大限自粛してください。
また、感染拡大地域との往来は慎重に判断してください。なお、県内移動でも、重点措置区域との往来は最大限自粛してください。夏休みシーズンが続くので、これ以上県外からの持ち込みを避けるようお願いします。

スライド 20

- そして、これ以上の県内での拡大を食い止めるため、これまで以上に人出の削減を続けたいといけません。まず昼間について、生活に必要な買い物を含めて外出を半分にしてください。出勤者を7割減らしてください。
まったく外出しないでくださいとは言いません。しかし ご自身の買い物や外出を半分にできる余地がないか、もう一度見直してください。

スライド 21

○ 次に夜間の人出をさらに削減してください。そのため、重点措置区域となる9市3町では、すべての飲食店の営業時間を20時までとしお酒の提供は行わないことを要請しています。また、重点措置区域では20時以降の外出しないように、勤務は抑制するようにお願いします。

○ 県民の皆さんは、協力要請に応じていない店舗は利用しないでください。路上飲みもやめてください。

スライド 22

○ 次にワクチンの話です。県では、ワクチン接種の迅速化の取組として広島市及び福山市に大規模接種会場を設置します。具体的には、広島市の天満屋八丁堀ビルと福山市の県立ふくやま産業交流館（ビッグ・ローズ）に会場を設置します。

この会場ではモデルナ社製のワクチンを使用し、広島県に住民票のある12歳以上の方を対象とします。接種の予約は、WEBが8月21日から、電話が8月24日から開始となります。

スライド 23

○ 各会場の概要となりますが、広島会場の設置期間は、9月3日から10月19日で、この期間で27,500回、13,750人分の接種を見込んでいます。

続いて、福山会場は、8月31日から10月25日で、17,500回、8,750人分の接種を見込んでいます。引き続き、接種を希望する県民の皆様が、1日も早く1人でも多くワクチン接種を受けられるよう、市町と一緒に取り組んでまいります。

スライド 24

○ 今、広島県は、まん延防止等重点措置が適用されるほど感染状況が悪化しています。

早期対策で感染者数のピークを抑えようとしていたわけですが、予想以上に県外由来の感染者が増えており、デルタ株への置き換わりも進んでいる可能性があります。

その結果、感染する人がさらに増え重症者も増えると、広島県の医療がひっ迫する可能性も出てきました。我々も医療の確保に全力を尽くしますがそれも限界があります。

そうならないためにも、人との接触を減らすため昼・夜の外出の削減に、みんなで取り組みましょう。飲食を楽しめる秋を迎えられるよう、もう少しがんばりましょう。